

健康医科学セミナー

Seminar on Medical Science

2単位 (選択) 1年(通年), 2年(通年)

中屋豊(授業責任者)・教授 / 人間栄養科学専攻, 阪上浩・准教授 / 大学院ヘルスバイオサイエンス研究部

【授業目的】 [目的]

【授業概要】 腸管での分泌吸収機構を解析するうえで必要と考えられるウッシング法, パッチクランプ法などの原理, イオン電流と細胞機能の関係, 細胞内情報伝達機構などについて講義を行い, これに関連した課題の抄読会を行う。

【授業方法】 [授業方法]

【キーワード】 [キーワード]

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 [関連科目]

【到達目標】 [目標]

【授業計画】

1. 細胞膜におけるイオンチャネル, 受容体の働きの理解に重点を置き, これらと細胞機能との関連について講義を行う。 (担当者: 中屋教授)
2. イオン電流の測定方法および理論について講義を行う。 イオン電流や細胞内情報伝達機構などの研究法について学ぶ。 (担当者: 阪上准教授)

【教科書】 [教科書]

【参考書】 [参考資料]

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217623>

【連絡先】

- ⇒ 中屋 (栄養学科棟 302, 088-633-7090, yutaka-nakaya@nutr.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 火曜日 11時から14時の間)
- ⇒ 阪上 (303, 088-633-7091, hsakaue@nutr.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL

Target) [目的]

Outline) 腸管での分泌吸収機構を解析するうえで必要と考えられるウッシング法, パッチクランプ法などの原理, イオン電流と細胞機能の関係, 細胞内情報伝達機構などについて講義を行い, これに関連した課題の抄読会を行う。

Manner) [授業方法]

Keyword) [キーワード]

Fundamental Lecture) [先行科目]

Relational Lecture) [関連科目]

Goal) [目標]

Schedule)

1. 細胞膜におけるイオンチャネル, 受容体の働きの理解に重点を置き, これらと細胞機能との関連について講義を行う。 (担当者: 中屋教授)
2. イオン電流の測定方法および理論について講義を行う。 イオン電流や細胞内情報伝達機構などの研究法について学ぶ。 (担当者: 阪上准教授)

Textbook) [教科書]

Reference) [参考資料]

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217623>

Contact)

- ⇒ Nakaya (栄養学科棟 302, +81-88-633-7090, yutaka-nakaya@nutr.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: Tuesday from 11:00 to 14:00)
- ⇒ Sakaue (303, +81-88-633-7091, hsakaue@nutr.med.tokushima-u.ac.jp)
MAIL